



自治連だより

第34号



年頭挨拶

鳥取市自治連合会

会長 土橋 周美

新年あけましておめでとございます。

会員の皆様には、すがすがしい新年を健やかに迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、会員の皆様には、それぞれの地域において自治会活動に熱心に取り組み、活力ある地域づくりにご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の国内発生から三年が経過していますが、いまだ収束したとはいえない状況が続いています。その影響は我々地域の自治活動にも及び、当会の研修等各種事業においても、中止を余儀なくされました。このような状況ではありますが、今後自治会の果たす役割は、ますます大きくなると思われれます。

鳥取市自治連合会といたしましても、行政ともこれまで以上に連携を深め、コロナ禍の中においても、地域コミュニティ活動を活発に展開し、住民の皆さんが安全で安心して健やかに暮らせるまちづくりの実現に取り組んでまいります。

会員の皆様には、本年も自治会活動になお一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、地域自治会の更なる発展と皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

青谷地区

歴史と文化遺産を 基にしたまちづくり

青谷町自治連合会

会長 田内伸一

青谷町は鳥取市の西端に位置し、気高町、鹿野町、三朝町、湯梨浜町との町境の山々と北側には鳴り砂の浜に面した日本海に囲まれた自然豊かなところであり、五地区四十三町内会が、各地区単位で独自の活動をしています。その中で、河川清掃は青谷町内全体で取り組んでいます。

町内では、高齢者世帯の急増、若年層の町外流出、子供が少ない、耕作放棄地の増、農業担い手の不足、有害鳥獣被害の増、バス路線の維持などの様々な問題を抱えている



展示ガイダンス施設完成予想図

る状況です。

最近では

子育て世代

の若者が中

心となって

企画したイ

ベントや

サークル活

動等も開催

され、少な

いですが町

外からの移

住者もあり、

明るい兆しが見えてきています。

また、歴史と文化の地域でもあり、因州

和紙や北前船の寄港地、青谷上寺地遺跡、

古代山陰道の発掘など歴史文化遺産が多い

ところでもあります。このため、各地区に

ある歴史的な石造物や樹木周辺の草刈り清

掃に取り組んで保存活動をしている地区も

あります。

これからの青谷上寺地遺跡では発掘作業

が継続されており、令和五年秋に待望の青

谷町の看板となる展示施設と遺跡公園が

オープンする予定です。現在工事が急ピツ

チで行われており、完成後にはたくさんの方

をお迎えすることになります。

このためには、地区内の住民が美化活動

や景観保全活動に取り組み、**因幡の源左さ**

んの「ようこそ、ようこそ」の精神でまち

づくりを盛り上げていくことが青谷地区の活性化の第一歩となっていくと思えます。



工事状況

末恒地区

魅力ある末恒のまちづくりを目指して

神話の郷末恒まちづくり協議会
会長 **山本孝久**

『古事記』に収められている神話のひとつ、「因幡の白兔」。古くから神話として日本に伝わっている白兔海岸を有する末恒地区は、新旧各八町区からなる世帯数約二千世帯の長い歴史と自然環境に恵まれた地域です。地区内には福祉施設も多くあり、人と自然にやさしくなれる環境があります。

活動状況としては、令和三年度より「まちづくり協議会」と「公民館運営委員会」を一体化し、名称も「神話の郷末恒まちづくり協議会」と新たにしました。これまでまちづくり協議会と公民館は車の両輪としてお互い連携し合いながら活動してきましたが、この度の一体化によりこれまで以上に連携を深め、より一層の地域の発展・活性化に努めたいと思えます。



令和4年度神話の郷すえつね文化祭にぎわい状況

一括交付金を受けることにより、生涯学習の機能を生かしたまちづくりに向けて動き

出し「自主防災機能の充実」と「ふるさと再発見のまちづくり」、「コミュニティ事業」を重点的に取り組んでい



令和4年度神話の郷すえつね文化祭にぎわい状況

ます。地域住民の参画によるニーズの把握、事業準備・実施を協働で行うことにより、これまで課題であった事業のマンネリ化や参加者の減少に歯止めがかかり、住民自身がやりがいを持つことで、知らず知らずのうちに地域の活性化につながっていることは、最大のメリットがあると言えます。全ての事業がまちづくり事業になったことで地区公民館まつりを「地区文化祭」と名称を変え、公民館活動との一体感を持つた取り組みとすることに位置付けました。コロナ禍ではありませんが、動きを止めないよう、できることを、できるように、できるだけ、と感染対策に配慮しながら様々な事業を実施することとしています。

私たち神話の郷末恒まちづくり協議会は、八十神たちの荷物を背負われ、自分も辛い状況にあるにもかかわらず、困っている兔を助ける大國主命のやさしさを思い、事業を進める上でどんな状況に至っても、他人への思いやりを忘れない心を持ち日々活動しています。

千代水地区

「千代水地区・まちづくり」活動について

千代水地区自治会
会長 **石脇佳秀**

千代水地区は千代川に架かる八千代橋西側周辺に位置し旧気高郡千代水村大字徳吉・安長・秋里・江津・南隈・晩稲の六箇村からなる静かな純農業地域でした。

昭和四十三年から市街地・区画整備事業が始まり、現在は商業施設、卸団地、アパート群と様変わりしております。八町内会、南隈・商栄町・安長・安長扇町・安長団地・リバーサイド安長・グリーンガーデン安長・緑ヶ丘三丁目の加入五百二世帯(総世帯数千二百十)。校区も三校区、城北・賀露・世紀と分散している地区です。

地区コミュニティ計画目標「人とひとがつながり夢のある住みよいまち」：ちよみを基本に、五部会(一部会十二〜十五名)で事業推進を行っております。

「総務広報部会」「防災防犯部会」「環境部会」「健康福祉部会」「歴史文化部会」を立ち上げ部会長には各町内会長、部会委員には各団体の長、各町内会役員がいずれかの部会に所属し町内の交流、声掛けで多くの皆さんが参加、協力しやす



ラジオ体操交流会

①千代水ふれあ

いまつり▼毎年秋に実施(作品展示・芸能発表・野菜市・花苗販売等)多数参加頂きまさにふれあいイベントです。



庭先花いっぱい運動

- ②まち協便りの発行▼一年を振り返り各事業の取り組みと反省
- 二、**防災防犯部会**
- ①交通安全運動の推進▼夏休み期間に子供自転車運動の推進▼夏休み期間に子供自転車運動の推進▼まずは体験する、が合言葉(備えあれば憂いなし)
- 三、**環境美化部会**
- ①庭先花いっぱい運動▼各町内で環境美化の推進
- ②ポイ捨て一掃大作戦▼千代川河川敷、近隣道路清掃・国交省と一体で美化の認識を

- 四、**健康福祉部会**
- ①毎年九月に千代水カップの祭典▼子供から大人まで一同に交流できる事業(運動会)です。
- ②ラジオ体操交流会▼夏休みの中で日にちを設定し、町内毎になります交流会と題し一斉ラジオ体操を実施

- 五、**歴史文化部会**
- ①ウオーケラリー交流会▼地区の名所旧跡等を歩き新たな発見
- ②しゃんしゃん傘踊り▼青少年育成が中心となり、毎年創作しゃんしゃん踊りにチャレンジしております。

新型コロナウイルス禍、各部会とも潤沢な事業がままならない状況ではあります。「まちづくり」とは何か?と考えるタイミングでもあり「支えあい・住みよい・ちよみ」を目指し努めて行きたいと思っております。



福部未来学園の児童・生徒との
植栽活動

具体的例
を挙げる
と、地域を
花いっぱい
にしよう運
動で福部未
来学園の児

福部町は鳥取市の東端に位置し、
県内屈指の観光地である鳥取砂丘の
砂地ではラッキョウ栽培が盛んに行
われており、二十一集落、人口
二千七百五十五人、世帯数千四十五
戸の町です。鳥取市街地に比較的近い
ため人口減少は緩やかですが三十年間
で約二十%も人口が減少するなど少
子高齢化が課題でもあります。学校
教育の関係では幼稚園から小・中
学校までの一貫校として「福部未
来学園」が平成二十八年に開校して
います。

福部まちづくり協議会では四つ
の専門委員会を設け、①生き生き
とした地域学習を創造する運動 ②
美しい生活環境を創造する運動 ③
安全・安心のまちづくりを進める運
動 ④地区公民館の充実を図る運
動の重点目標を掲げ活動しています。

福部地区

福部未来学園と一緒に
花づくり・地域づくり

福部まちづくり協議会
会長 谷口孝義

童・生徒と
合同で植栽
した花鉢を
町内の主要
事業場に配
布。道路を
花で飾る運
動でアジサイ
の補植や
草刈り等の
管理作業。花
いっぱいコン
クルの開催
や不法投棄
の巡回活動
。安心安全
のための活
動で集落へ
の海抜プレ
ートの設置
、防犯対策
としての街
灯の設置。
青少年の健
全育成を図
るための研
修会の実施
。公民館ま
つり・まち
づくり推進
大会の実施
等を行っています。

近年のコロナ
禍で活動も
いろいろ制
約を受けて
いますが、
令和五年度
からは感染
防止に努め
ながら徐々
に平常通り
の活動がで
きるよう取
り組んでい
きます。ま
た、福部町
中央公民館
が老朽化等
の理由から
体育館も含
めて使用不
能となり、
令和二年に
福部町コミ
ュニティセ
ンターが改
築されました。
この施設に
は、多目的
ホールもで
きました。こ
の施設には
、体育館が
なくなった
ことにより
不自由で何
かと不便を
感じています。
これらの打
開策として
、十月三十
日に開催さ
れた公民館
まつりでは
大型トラック
を会場に持
ち込み、荷
台を飾り付
けて十三メ
ートルの屋
外仮設ステ
ージとし、
傘踊り、ふ
くべ砂神太
鼓、サック
ス演奏等の
各種演芸プ
ログラムに
よる祭りを
盛り上げま
した。



アジサイの植栽活動



プランター花植え

よる「健康ラ
イフセミナ
ー」が
開催されま
した。コ
ロナ対策と
して、完全
予約制に
よる入場制
限をし、飲
食や接触
をなくした
上で、地域
包括支

「春くれば花の都を見てもな
お霞の里に心をぞやる」歌人
和泉式部が、故郷の湖山池
周辺「霞の里」を偲んで歌
ったという歌碑がある湖山
地区は、戦国期の因幡国守
護所である天神山城など
の史跡がある一方、小中
高大学と多くの学生が集
う、豊かで賑やかな街で
す。

湖山地区では、自治会
とまちづくり協議会を一本
化し、湖山地区の代表機
関として、住民の視点で
「地域の身近な課題」を
捉えつつ、継続的な活動
を通して「安心・安全で
快適なまちづくり」を進
めるとともに、地区民の
生活および文化の向上並
びに親睦を図ることを
目的として活動してい
ます。

事業は、総務広報・教
育文化・健康増進・環境
美化の四つのグループで
企画・実施しています
が、ここ近年のコロナ
禍で、様々な事業が中
止や縮小となっています。

湖山地区

「いきいき元気で、家で暮らそう！」
健康ライフセミナーを開催

湖山地区自治会
総務広報グループ
中村哲也



健康ライフセミナー

援センターの
方による「い
きいき元
気で、家で
暮らそう！」
と題した講
演や、食
育推進員協
議会の皆さ
んによる
適塩講座、
健康推進連
絡協議会
の皆さんに
よる集団検
診PRなど
が行われ、
満席の受
講者からは
「講師の話
をもっと聞
きたい」「
次回は減
塩味噌汁と
そうで無
いものを飲
み比べがで
きるともっ
とわかりや
すい」など
、今後の開
催を希望さ
れる意見が
多く聞かれ
るなど、成
功に終わり
ました。

このほか、
教育文化グ
ループも「
湖山地区文
化祭」を十
一月に開催
、環境美化
グループも
、ヒストリ
ーポイント
の清掃活動
やプランタ
ーの花植え
を行うなど
、コロナ感
染に留意し
ながらでき
ることを行
い、総務広
報グループ
がそれらの
活動を「自
治会だより
」として発
行し、地区
民にお届け
しています。
本年は、湖
山小学校が
設立されて
百五十年と
なる記念す
べき年。コ
ロナが終息
し、より活
発で明るい
自治会活動
となるよう
願っています。



住民が植えたアジサイロード

豊実地区

魅力ある住みよいまちに

豊実まちづくり協議会
会長 **川西謙一**

豊実地区は、鳥取市の南西部に位置し、千代川水系野坂川の中流域に広がる七つの集落からなる、のどかな田園地帯です。

平成三十一年に地区内に鳥取西道路の鳥取西インターチェンジが出来、また地区内の真ん中を南北に走る県道の改良工事も終わり、利便性の向上とともに、環境の変化も予想されます。

豊実まちづくり協議会は、令和三年度から豊実地区公民館と「組織の一体化」「補助金の一本化」に取り組み、共に行事や事業を行っています。

まちづくり協議会には、「総務・広報部会」「安全・防災・防犯部会」「健康・福祉部会」「生涯学習・人権部会」「環境・美化部会」の五つの専門部会があり、互いに連携・協力しながら活動を展開しています。



歴史探訪ウォーク

ここ二・三年は、コロナ禍の影響で「集まる」ことが制限され、地区民の最大の交流の場であった「地区大運動会」「地区まつり」「防災フェスタ」「オレンジカフェ」など多くの事業が中止や内容を縮小しての実施となりました。

なりました。

コロナ禍でも、地区民の交流の場は設けたいとの思いから、公民館と各専門部長が、「感染防止対策をとりながら、いま出来る事業」について話し合いをしました。

まちづくり協議会では、以前から「地区マップづくり」を計画しており、作成にあたっては、地区民の理解と協力が不可欠です。

まずは、豊実地区に興味を持ってもらうという事で、江戸時代後期、鳥取藩の姫君姉妹が吉岡温泉に湯治に行つた際、豊実地区内の鹿野往来（鹿野街道）別道を通って、途中野坂村の庄屋で昼食をして、吉岡に向つたという事が、側近の武士の日記に記されており、歴史の道を体感しようという「豊実地区歴史探訪ウォーク」を実施しました。

参加者からは、豊実地区について興味があふくらんだと大変好評でした。地域の歴史遺産めぐりは、今後も続けていきたいと思えます。

コロナ禍で、様々の制約の中での「まちづくり」の活動ですが、地域住民が気軽に地域づくりに参加できる機会や場所づくりを心掛け、魅力ある地域として発展するよう、自治会、公民館と連携を図りながら取り組んでいきます。



花いっぱい運動
(バス停プランターづくり)

倉田地区

コロナ禍での自治会活動

倉田地区区長会
会長 **井上清**

令和二年からの、コロナウイルスの影響で、私たちの生活スタイルも大きく変わってしまいました。今後はゼロコロナも難しく、ある程度コロナとの共存も考えながら、事業や活動を行っていく事になると思われます。事業は勿論、各種会合も中止や縮小を余儀なくされていますが、早く以前の様な、「笑顔でいきいき」とした活動が出来る事を願っています。

倉田地区自治会は、総務部、福祉部、同教部、保安部、体育部、公民館部の六つの部で構成され安心、安全、共生をもとに活動を行っています。各部とも地区住民は勿論の事、公民館の「協力」「勇気」を頂きながら、地区発展



グラウンドゴルフ大会 (6月)

の為地域に根付いた活動を地道に進めています。しかしながら、地区文化祭や、倉田地区部落解放月間中の地区集会、子供たちが多く

集う「そうめん流し」や、「餅つき大会」等代表的な行事が、ここ数年実施できない状況にあります。この様な中でも、各部が感染防止対策を行い、創意工夫をしながら出来る事業を実施しています。地域コミュニティの場として、公民館部で、「グラウンドゴルフ大会」「地域の仲間づくり事業」や「健康ウォーク」「しいたけ植菌」等、保安部では「交通安全活動」「不法投棄監視活動」「消防団活動」を通じ、安心安全対策を実施し、また全戸組織の教育後援会、子ども見守り隊ボランティア活動も行っています。そして、同教部も倉田地区部落解放月間中には、啓発用看板の設置やポスター、チラシの配布等を実施しています。倉田地区は千代川や見方によれば「名峰倉田富士?」と呼ばれる八坂山に囲まれ、無形文化財もある地区です。この豊かな自然、文化は宝であり、財産です。いつまでも私たちの故郷が笑顔の絶えない地区として有り続ける様、倉田地区自治会は活動をしていきます。



健康ウォーク (3月)



面影山ウオーク

面影地区は古く万葉の時代から息づく歴史と文化に彩られた地区です。中心をなす「面影山」は因幡三山の一つとして有名であり、奈良時代の歌人が面影山を詠った所以で、和歌が掲示された遊歩道も整備され、住民の心のよりどころとなっています。

さて、昭和初期まで面影は七地区のみの地域でしたが、町村合併を経て宅地開発等が一気に進み、現在では十五町内会で二千世帯を超える地域となっています。また、保育園、小中学校などの教育施設及び商業施設が林立する一大住居地域となっています。当然、高齢化が進みつつあります。地区も他地区と同様に少子・高齢化が進みつつあります。住宅やマンションの建築などにより近年も人口の微増が見込まれています。

面影地区

**「最協！」の面影を
目指して**

魅力ある住みよいまちづくり

面影地区自治会
会長 **稲田 宗万**

一方で、長年守り続けた田畑を懸命に受け継いでいる方々もおられる地域です。私たちは魅力ある住みよい面影のまちづくりをスローガンに日々活動を行っています。

●「活動の柱」

活動の柱としては、世代間交流の活性化、防災・防犯対策の強化、男女共同参画社会の意識形成を掲げています。世代間交流では、児童と住民の交流会として毎月「いきいきおもかげつ子ひろば」を開催し、毎年秋に行う「面影山ウオーク」では、地域の魅力を再発見するとともに、世代間交流を実現するため、多くの中学生が参加して、ウオークの途中にゲームを行うなど趣向を凝らし大いに賑わっています。

また、町区対抗親睦グラウンドゴルフ大会では高齢者に交じって若い世代も一緒に参加し、ほほえましい活動として住民に親しまれています。防災・防犯対策では、大規模災害発生を想定し、住民の避難生活が長期化することから、段ボールを利用した避難所の区画整理及びベッドの確保などに取り組んでいます。この様な取り組みについて、住民からも数々の意見が寄せられています。また、災害時要支援者への支援体制については、既存の町内会長・区長等の協力及び社会福祉協議会会員、民生児童委員の協力を頂き、必要な支援体制の強化に取り組んでいます。男女共同参画社会の実現に



親睦グラウンドゴルフ大会

●「最協の力」

最協！これは小学校のクラスに掲げていたスローガンにあつたものです。

私たちは日々の生活の中で、スマホやパソコン等の便利な社会に慣れ親しみ、ともにすれば隣近所の協力関係など煩わしいと考えがちなのかもしれないかもしれません。しかし、災害時など人間同士が助け合わずしてどうして災害に対応できるでしょうか。困難な時代だから隣人の協力があればとの思いから「最協の力」ではなく、最協の力」とさせていたいただきまの先には最強の自治組織があると信じて！

ただ、当地区においてはこの力がまだまだ足りていません。これからも「最協の力」を目指して活動を行うことと指導ご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年度 全国自治会連合会広島県福山大会

令和4年度全国自治会連合会広島県福山大会が昨年11月17日にふくやま芸術文化ホールで開催されました。

開催地実行委員会委員長の歓迎あいさつで始まり、全国自治会連合会会長のあいさつ、来賓のあいさつを受けた後、開催地を代表して広島県湯崎知事からの歓迎あいさつを受けました。

全国自治会連合会会長から自治会活動に功労があつた方に対し表彰状が授与され、鳥取市自治連合会からは水田副会長が受賞されました。

大会宣言(案)が提案され、満場一致で可決され、第1部の式典が終了しました。

第2部 記念講演

能楽師シテ方喜多流(社)能楽協会会員
大島 衣恵氏

第3部 活動発表

①福山市自治会連合会 組織強化推進部会の取り組み
〔発表者〕 組織強化推進部会 部長
横山 典好氏

②豪雨災害の概要及び対応状況について
〔発表者〕 広島県福山市山手学区町内会連合会
会長 杉原 均氏

次期開催地北海道を紹介され、全国自治会連合会大会は終了しました。

(報告 副会長 新 潤一)



津ノ井地区

津ノ井地区の活性化

津ノ井地区まちづくり協議会

副会長 細川和憲

津ノ井地区は、九百四十一世帯自治会参加地域です。

県道323号線(旧国道29号線)沿いの南北に長い地域で国道29号線と県道323号線の間は津ノ井工業団地があります。

地域内には県立鳥取工業高等学校、津ノ井小学校、JR津ノ井駅(無人駅)、医院(内科、小児科)一軒、歯科二軒、スーパーマーケット、近隣には公立環境大学、桜ヶ丘中学校があり、生活するには便利な地域だと自負しております。

津ノ井地区まちづくり協議会は平成二十一年に設立、組織は津ノ井地区自治会、区長会、各種団体、公民館の構成で事務局を公民館に置き「津ノ井地区を明るくて住みよい地域にする」を目標に活動を始めました。

住みよいまちづくりには、まず地域



標柱の設置

地区には伝承芸能として、昭和二十三年国府町美敷に伝わる門外不出の傘踊りを若者が悪い遊びをしないようにと許可を頂き、津ノ井傘踊り保存会として活動中です。以前は運動会、納涼祭、初盆のお宅訪問を実施していましたが高齢化が進み人員確保問題で苦慮しており、現状維持しながら

のことを老若男女問わず皆知ることが地域の活性化、住みよいまちづくりの為には必要だと考え日頃から慣れ親しんだもの、忘れられていたもの、知らなかったものを掘り起こし活用することにしませんでした。

地域の南西に意神奴神社が祀られていた空山という山があります。頂上には風力発電用風車三基や牛の放牧場があり、頂上からは鳥取市内はもちろん、津ノ井地区、米里地区、日本海をみる事ができます。以前は越路からの道しか無かったのですが、この空山を活用できないかと、先人による地主さんたちへ土地提供交渉の大変な苦労のおかげで、津ノ井側から頂上までの道を平成二十五年に完成することができ、「空山ウオーキングロード」と名づけ、同時に七百本の苗木の植樹を行い自然保護活動も行いました。このウオーキングロードの中腹には毎年、津ノ井小学校の子供たちが空山遠足で上る桜公園があります。年二回公園の草刈り、ウオーキングロードの草刈りを子供たちや、ロードの利用者の安心安全を願い作業を毎年実施しています。又、ウオーキングロードマップを作成し津ノ井地区はもとより近隣地区にも配布を行いました。



空山草刈り作業

活動中です。人員確保活動や道具の維持管理も行いながら伝承を行うこととしています。

他にも、銭太鼓グループも活躍中で銭太鼓も伝承をと考えております。又、公民館の一角に陶芸工房があり、子供たちへの講習等も実施しております。今までは作品の焼き入れは個人の炉を利用していただいておりますが、伝承の為に電気炉の設置を行いました。

地区には津ノ井としての名所があり、津ノ井名所マップを作成し全戸配布と、標柱の設置を十一箇所し地区の皆に見えらるようになりました。工業団地内に多目的広場があり、土グラウンドでしたのでこれを芝生化

編集後記

自治連だより第三十四号の発刊に際し、原稿依頼に快く応じていただきありがとうございました。
コロナ禍において感染対策を実施しながらの自治会活動や、まちづくり活動大変、ご苦労様でした。
今後とも、自治連だよりの原稿依頼にご協力をお願いします。
併せて発刊に当たり、広報委員の皆様には、大変お世話になりました。
また、昨年十一月に開催された「全国自治会連合会広島県福山大会」に出席されました新副会長に報告をお願いしました。
令和五年がすべての皆さんにとって良い年となりますように。
広報副委員長 西川 功美

祝 総務大臣表彰

南部 敏前会長

鳥取市自治連合会会長として、長年住民自治活動の推進にご尽力された功績により、令和四年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰(全国自治会連合会推薦)を受賞されました。

し、水洗トイレの設置も行い、利用しやすい広場とし、住民の健康維持広場になるよう、維持管理は各種団体をお願いしております。
他に、まちづくり活動支援として、敬老会の座テーブルから椅子テーブルへ、納涼祭用の櫓、提灯の新調等、地区の活動にも参加しています。
地区の活性化、地区民の安全、子供たちの安全を守り、住みよいまちづくりを目指しています。